

第5学年 国語科学習指導案

児童 男11名 女11名 計22名
指導者 山下 祐子

- 1 研究主題 確かに読みとる力を育てる指導のあり方
読むことの系統性をおさえた指導（一人学び・学び合い）を通して
- 2 単元名 『目的に応じた伝え方を考えよう』
（教材名「ニュース番組作りの現場から」）

3 単元について

（1）児童について

児童は、第5学年の説明文教材「サクラソウとトラマルハナバチ」において、内容を的確に押さえながら要旨をとらえ、筆者の考えに対して自分の考えを明らかにしてまとめる学習をしてきた。この学習を通して、大きなまとまりごとの要点をとらえることや筆者の考えを読み取ることができるようになってきている。しかし、読みの構造を意識して文章全体の要旨をとらえることについては、理解力に個人差があり、自分の言葉で要点をつないだりまとめたりすることができない児童も数名いる。

事前テストの結果、文章構成を正しくとらえていた児童は54%と、約半数の児童が的確に意味段落に分けることができなかつた。ニュース番組の特集ができるまでの順序については、74%の正答率であったが、それぞれの過程における大切な点については正答率が27%と低く、事実と考えの表現の違いをとらえて大切な点を書き出すことができない児童が多かつた。要旨をとらえることについては、結論段落に着目することはできたが、それを文章全体と関わらせ的確に要旨をとらえることができた児童は少なかつた。

（2）教材について

高学年における「読むこと」の目標は、C、目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる、である。

本単元は複合単元であり、「文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める」「伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する」ことを主目標にしている。ここで学習したことは、発信することに重点を置いた第6学年の情報活用単元「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」（平和のとりでを築く）へとつながっていく。

本教材は、ニュース番組の特集ができるまでの過程が、「話題を選ぶ」「取材する」「インタビューや撮影をする」「編集をする」「原稿を書く」という時間の順序にしたがって書かれている。その中に、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方法等がわかりやすく整理されている。その点で本教材は、ニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意して内容を的確に読み取る文章としても適しており、ニュース番組を作る人々の思いや願いも読み取れるものと考えられる。

（3）指導について

指導にあたっては、教材文全文について、はじめにニュースを人々に伝えるまでの過程を時間の順序にしたがって読み取り、次に番組作りの過程で大事な点や工夫することを読み取っていくという段階的な読み取りをしていく。はじめの読みにおいては、教材文の全体構成が理解

できるように表を用いて整理させ、場面分けや着目する文章の見つけ方を丁寧に指導したい。次の読みでは、特集とは何かをきちんととらえさせたくて番組作りの各過程で大事な点や工夫することを読み取らせ、それをもとに番組を作る人々の努力や思い、願いへと結び付け、さらに要旨へと迫りたい。一人学びでは、ニュースを人々に伝えるまでの過程を時間の順序を追って表に書き出す活動や、番組作りの各過程での「大事な点や工夫すること」にサイドラインを引いてまとめる活動を行っていく。学び合いではそれらをもとに番組作りの過程を的確にとらえたり、番組作りの努力や願いについて話し合ったりする活動を行う。要旨をとらえる段階では、グループ学習を取り入れて、互いに得た情報から考えを修正・深化させる場を設定し、児童全員がしっかりと要旨を押さえられるようにしていきたい。

4 単元の目標

(1) 関心・意欲・態度

ニュース番組の「特集」がどのように作られているのかに関心を持ち、その過程を興味深く追いながら進んで読もうとする。

(2) 読むこと

ニュース番組作りの大切な点を的確に押さえながら要旨をとらえて読む。(イ)

自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序に従って段落ごとに読み取る。(オ)

(3) 書くこと

情報発信のための編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理する。(イ)

集めた材料を、目的に合わせて整理し、加工して伝える。(エ)

(4) 言語に関する目標

語句の構成(複合語)について理解を深める。(エ)

5 単元の評価規準(身につけさせたい力:基礎・基本)

	関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	言語事項
単元の評価規準	・ニュース番組の「特集」がどのように作られているのかに関心を持ち、その過程を追いながら大切なことや必要なことを進んで読もうとしている。	・情報発信に関する資料や図書を選び、自分の考えを広げたり深めたりするために役立っている。 ・ニュース番組作りにおいて大切な点を的確に押さえながら要旨をとらえ、報道スタッフの願いなどを読み取っている。 ・自分たちがニュースを発信するうえで必要な手順や事柄を、時間の順序に従って読み取っている。	・目的や、相手を意識し、書く必要のある事柄を整理して企画書や原稿を書いている。 ・取材して集めた材料を、目的にあわせて整理し、効果的に配列しながら原稿を書いている。	・当該学年までに配当された漢字を読んでいる。 ・文章の中から複合語を探し、その構成を理解している。 ・理解したりするための語句について、辞書を利用して調べている。

6 指導計画と評価規準（全15時間）

段階	学 習 活 動	時 間	評 価 規 準				
			関心・意欲・態度	読 む	書 く	言語事項	
一 次	み と お す	・ニュース番組を見た経験をもとに感想を発表し合う。 ・全文を通読して初めて知ったことや興味を持ったことを発表し、学習の見通しを持つ。	1	ニュース番組作りに関心を持ち、教材文を読んで初めて知ったことや興味を持ったことを発言しようとしている。	全文通読を通して、内容の大体をつかみ、読みの視点を持つことができる。		新出漢字や難語句について、おさえることができる。
二 次	ふ か め る	・ニュースを伝えるまでの過程が時間の順序を追って書かれていることを知る。 ・～を表に整理しながら、学級全体で読む。	1	ニュースを人々に伝えるまでの過程について、進んで読み取ろうとしている。	教材文が、ニュース番組の「特集」ができるまでの順序に沿った構成になっていることがわかる。		文末表現に着目して読んでいる。
		・前時の学習を生かし、～を表に整理してまとめる。	1	ニュースを人々に伝えるまでの過程について、進んで読み取ろうとしている。	ニュースを人々に伝えるまでの段階を読み取り、整理して表にまとめている。		文末表現に着目して読んでいる。
		・「特集」が、どんなきっかけで作られ始めたのかを読む。 ・番組作りの過程で大事なことや工夫することをまとめる。(～)	1	ニュース番組作りの過程で大切なことを進んで読み取ろうとしている。	「特集」とほかのニュースとの違いを理解し、話題選びと取材の過程で大事な点や工夫することを読み取っている。		事実と考えの表現の違いを理解している。
		・番組作りの過程で大事なことや工夫することをまとめる。(～) ・番組作りの努力や願いについて話し合う。	1	番組スタッフの努力や願いについて、進んで考えようとしている。	インタビューや撮影、原稿作り、編集の過程で大事な点や工夫することを、正確に読み取っている。		事実と考えの表現の違いを理解している。
		・文章全体の要旨をまとめる。	1 (本時)	文章全体の要旨を進んでつかもうとしている。	ニュース番組作りの過程における大事な点に着目して、要旨をとらえることができる。		段落が持つ役割を理解することができる。
三 次	ま と め る	・「私の特集」というテーマの企画書を書く。	1	目的意識を持って、進んで企画書を書いている。		特集の意味や伝えるまでの過程の学習を生かし、自分の身の回りの事柄と関連付けて企画書を書いている。	話題、相手、方法、目的(理由)の項目について、構成を考えながら企画書を書いている。
四 次	ひ ろ げ る	・情報発信までの手順を確認する。	1	自分たちの力で情報を発信していこうという意欲を持っている。			情報の発信について、順序に沿って述べることができる。

	・グループごとに企画会議を開く。	1	企画の内容について進んで自分の意見を述べている。		目的や相手を意識した企画書を書いている。	情報の発信について、順序に沿って考えることができる。
	・グループごとに取材、編集をする。	3	目的意識を持って、取材・編集を行っている。		目的に応じて必要な材料を集め、材料を選んだり配列を考えたり、写真や図表との関係も考えながら原稿を書いている。	目的に応じた構成の工夫をしている。
	・情報を発信し、発信者の意図と受信者の感想を交流する。	2	発信された情報について、工夫した点のよさを見つけ出そうとしている。			発信された言葉の使い方が適切かどうか感じ取ることができる。
	・単元全体を振り返り、情報の発信や受信について考えを深める。	1	単元の学習を振り返って、情報の発信や受信について考えを深めようとしている。		情報をテーマにした意見文を書いている。	複合語について理解している。

7 本時の指導

(1) 目標

筆者の考えについて興味を持ち、進んで要旨をとらえようとする。(関心・意欲・態度)
 ニュース番組作りの大切な点を的確に押さえながら要旨をとらえて読むことができる。
 (読むこと イ)

段落が持つ役割を理解することができる。(言語事項)

(2) 具体の評価規準と手立て

	A：十分満足	B：概ね満足	C：努力を要する
読むこと	ニュース番組作りの過程と、それらにおける大事なことを対応させながら要旨をまとめ、ニュース番組を作る側の思いや願いを読み取っている。	ニュース番組作りの過程と、それらにおける大事なことを対応させながら、要旨を書くことができる。(出発点 おどろき、取材 正確、インタビューやさつえい 分かりやすい、編集 伝えたい)	番組作りの過程が、段落のどの文章に対応しているかが書かれたヒントカードを示す。

(3) 本時の授業仮説(研究主題との関連)

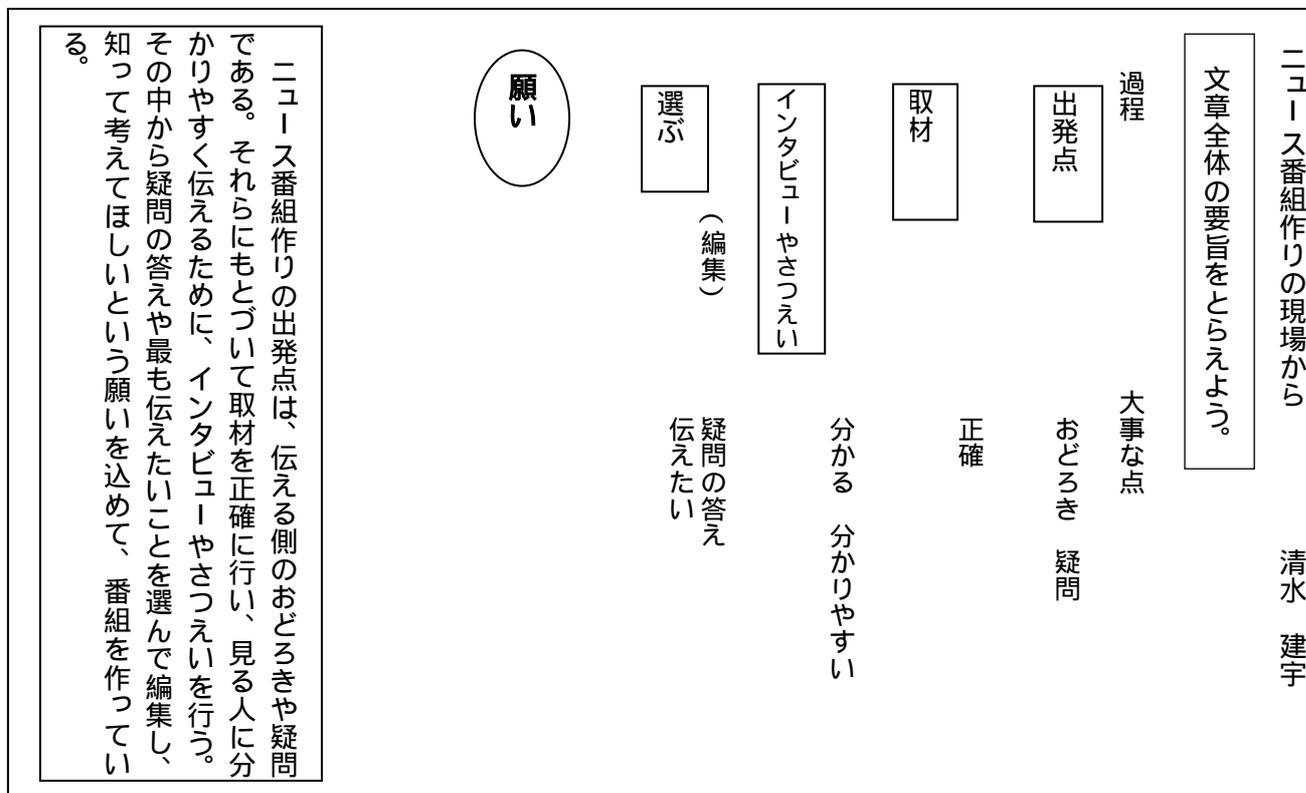
一人学びにおいてニュース番組制作の過程を書き出す活動を行い、学び合いでは、それらの過程における大事な点をグループ学習でしぼりこむ活動を行うことで、要旨をまとめていくのに必要なキーワードが全体で確かめられ、確かに読み取ることができるであろう。

(4) 展開

段階	学習内容・子どもの活動	時間	教師の働きかけ・評価 (主発問・留意点 個別の支援 評価)
みとおす	1 前時想起 2 課題把握 <div data-bbox="341 443 1043 495" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 文章全体の要旨をとらえよう。 </div>	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容を確認する。
ふかめる	3 読みの見通しをもつために音読する。(指名読) 4 各々の視点に沿って読み深める。(一人学び) 5 とらえたことをもとに学び合う。(学び合い)	27分	<ul style="list-style-type: none"> ・第12段落が、筆者の考えが述べられているまとめの段落であることを確認する。 一人学びで、段落の中にある言葉を使って番組ができるまでの過程を箇条書きで書き出しましょう。 ・サイドラインを引かせ、それをノートに書き抜きさせる。 自力で書けない児童には、番組作りの過程が、段落のどの文章に対応しているかが書かれたヒントカードを示し、同じ言葉を抜き出していけるようにする。 番組作りの過程で大事なことを、グループで話し合って書き出しましょう。 ・前時の番組作りの過程で大事なことをまとめた表の中で、事例以外の部分から抜き出せばよいことに気付かせる。 進んで話し合いに参加し番組作りの過程で大事なことを見つけ出そうとしていたか。(関心・意欲・態度) 要旨をまとめるのに必要なキーワードをみんなで確認しましょう。 ・過程と大事な点に加えて、番組制作者の願いも要旨につながることをおさえさせる。
まとめる	6 つかんだことをまとめる。 <div data-bbox="341 1576 1043 1839" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> ニュース番組作りの出発点は、伝える側のおどろきや疑問である。それらにもとづいて取材を正確に行い、見る人に分かりやすく伝えるために、インタビューやさつえいを行う。その中から疑問の答えや最も伝えたいことを選んで編集し、知って考えてほしいという願いを込めて、番組を作っている。 </div>	15分	<ul style="list-style-type: none"> 学び合いで確認したキーワードを使って、要旨を書きましょう。 書き終わったらグループ内で読み合わせをし、キーワードや文章の書き方を確かめ合う。 ニュース番組作りの大事な点を押さえながら、要旨をとらえることができたか。(読むこと)

7	まとめの音読（一斉読）	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめとして、児童の要旨の中の一つを一斉読する。 ・学び合いで確認したキーワードを使って、要旨をまとめることができたかを振り返らせる。 ・次の時間は、企画書を書くことを知らせる。
8	自己評価	
9	次時の学習内容を知る。	

(5) 板書計画



<サイド黒板>

5 原稿作り	4 編集	3 インタビュー やさつえい	2 取材	1 話題選び	番組作りの過程
<ul style="list-style-type: none"> ・ 耳で聞いてわかりやすい原稿 ・ はじめに結論、理由は後 ・ 一文は短く、主語と述語の間を空けない。 ・ 地図や表の用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最も伝えたいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目で見て分かる映像 ・ 画面に富士山を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ？疑問を中心に ・ 正確に取材するために、多くの人に聞いたり資料で確かめたりする。 ・ 山梨県の防災担当者、火山の研究者、地元の観光業者、富士山の噴火の資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人の関心をよぶ話題を選ぶようにする。 ・ デスク自身もおどろいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大事な点や工夫